

令和2年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	12	議席 番号	10	氏名	野 本 貴 之 議 員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	障がいを持たれた方々の自立と就労支援について			<p>改正障害者雇用促進法が施行され法定雇用率の引き上げや就労環境の向上により、障がいのある方々の就労意欲が高まっている。しかし、実際に就労している方は全体のうち少数である。以下伺う。</p> <p>(1) 市内の障害者手帳の交付数と就労者数（一般就労者と就労継続支援A・B型などの福祉的就労者）について。</p> <p>(2) 最近5カ年の市県民税納税者数の推移について。</p> <p>(3) 富士宮市内の民間企業における障がい者雇用率と達成企業の割合について。</p> <p>(4) 一般就労者を増やすために以前より通勤の課題が指摘されており検討課題であったが、取組はどうか。</p> <p>(5) 就労前の子どもを持つ保護者から子どもの就学時の就労移行支援や就労先の確保、悩みや不安に寄り添う相談支援の充実を求める声があるが、市の取組を伺う。</p> <p>(6) 第6期富士宮市障がい者計画に就労支援の充実と触れているが、雇用の目標数を設けたり、就労希望者を継続的に支援する体制整備など市として組織的に推進する取組を行うべきと考えるが、どうか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	ごみ減量化と再資源化を目指した雑がみの回収の取組について			<p>排出したごみ類のうち、紙や雑がみなどの紙ごみ類は約4割を占めており、回収してリサイクルすることでごみの減量化につながる。以下伺う。</p> <p>(1) 雑がみの回収が始まったが、市内から排出された紙ごみの量の推移と雑がみ回収量について成果を伺う。</p> <p>(2) 各自治会の雑がみ類回収ボックスの設置状況や取組について伺う。</p> <p>(3) 紙ごみ類が多い公共施設、小学校や中学校の教育施設、幼稚園、保育園、認定こども園、小規模保育所など、雑がみ回収の推進や徹底を促すべきと考えるがどうか。機密書類やファイル書類まで対応できるため省力化につながるが考えを伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長